

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	建築生産イノベーション小委員会		主 査 名：後藤 礼彦 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)		委員長名：本橋 健司 主 査 名：岩澤 成吉
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：生産性概念の再考と建築生産イノベーションを促す方策の検討 ・2013 年度：イノベーションの概念・理論と生産技術の変遷の基礎情報の収集 ・2014 年度：基礎情報の収集（継続）と分析の方針・方法の検討 ・2015 年度：建設関連メーカーや他産業へのヒアリング調査及び分析 ・2016 年度：将来の建築生産イノベーションの可能性・方向性に関する検討		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：後藤礼彦 (竹中工務店)，幹事：佐藤幸博 (フジタ)，武藤正樹 (建築研究所)， 委員：土橋稔美 (鹿島)，岩澤成吉 (長谷工コーポレーション)，瀧諭 (清水建設)， 岩下智 (鴻池組)，河谷史郎 (東京大学)，香月泰樹 (戸田建設)， 浜田耕史 (大林組)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 文献や事例を通してイノベーションの概念やマネジメント方法を確認した。 2. 公表データより日本の建設業の生産性の実状を把握し問題点を議論した。 3. 生産技術の変遷をいくつか調査しイノベーションの実例を探った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 建設業の生産性がなぜ低下している (とされている) のか、その真因を探る ためには、より詳細な検討が必要である。⇒外部専門家にアプローチする 2. イノベーションをマネジメントできるのか、その手法を探る必要がある。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。